



もうひとりのスフィンクス 2010年 西村画廊 写真 渡邊郁弘



ル・ライの走る理由 1982年 野木町 栃木県立美術館寄託 写真 落合尚仁



雪の上の影 2002年 札幌芸術の森美術館 写真 佐藤雅英



肩で眠る月 1996年 愛知県美術館 写真 内田孝孝

©FUNAKOSHI Katsura, Courtesy of Nishimura Gallery

生活の中の木の造形ー
日本の近現代の工芸品から
講師／星野立子(当館学芸員) 申込不要。直接会場へ

講師／塩田純一(当館館長) 申込不要。直接会場へ

5月28日(土) 14時〜(約90分)

4月28日(木) 必着。はがき1枚につき2名様までお申込みできます。

返信面に返信先のご住所と氏名をご記入の上、

申込方法／往復はがきによる事前申込(応募者多数の場合は抽選)

ヨロロッパにおける木彫の歴史と舟越作品
〜ロマネスクを中心に〜

5月14日(土) 14時〜(約90分)

会場／当館講堂 定員／90席 要観覧券(半券可)

4月8日(金) 必着。はがき1枚につき2名様までお申込みできます。

返信面に返信先のご住所と氏名をご記入の上、

申込方法／往復はがきによる事前申込(応募者多数の場合は抽選)

4月24日(日) 14時〜(約90分)

舟越桂 記念講演会

今日の日本を代表する彫刻家舟越桂(1951年盛岡市生まれ)。
30年以上にわたり、木彫彩色によって、人間の存在をテーマに人物像を制作してきました。
静謐さを湛えた半身の肖像彫刻、というスタイルを初期に確立した舟越ですが、
1990年代半ば頃、その作風に変化が兆します。胴体が山と一体化したり、頭部が双頭になるなど、
異形の姿が現れ始めるのです。2000年代初頭からは裸体像も積極的に試みられるようになり、
近年では、人獣・性別の境界を超越したスフィンクスの像を展開しています。舟越は、ひとところに留まることなく、
のびやかに表現を拡張しながら、私たちにとって最も身近で謎めいた「人間」について考え続けているのです。
最新作を含む彫刻・ドローイング・版画70余点を常設・企画の両展示室に展示する本展で、
舟越芸術の造形の魅力を心ゆくまでお楽しみください。

新潟市新津美術館の展覧会
生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展
4月9日(土)ー6月12日(日)
T02500ー251300

次回の企画展
徳川家康没後400年記念
天下太平 徳川名宝展
7月30日(土)ー9月25日(日)

NIGATAアートリンク2016の
スタンプリー対象展です。

要当日観覧券 事前申込不要
井上静香氏 ヴァイオリン・八百板正己氏(チェンバロ)

会場／展示室ロビー

5月5日(木・祝)・5月6日(金)

要当日観覧券 事前申込不要
*TeNYアナウンサーと一緒に、トーク形式でお話します。

4月30日(土)・5月7日(土)・5月21日(土)・6月19日(日)

要観覧券(半券可) 事前申込不要

上映会「ル・ニアイコール」舟越桂

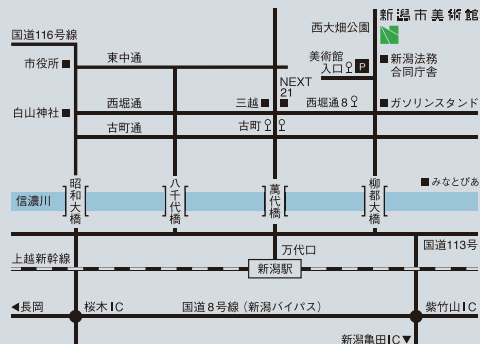
5月1日(日)・5月29日(日)

14時〜(126分)

制作／2004年

会場／当館講堂 定員／100席

要観覧券(半券可) 事前申込不要



交通のご案内

◎ バスで(新潟駅万代口バスターミナルから)

① [観光循環バス・朱鷺メッセ先回りまたは白山公園先回り] 乗車約30分 →

バス停「新潟市美術館入口」下車 → 徒歩3分 ※1日14便運行

② [C6八千代橋線] 乗車約16分 → バス停「西堀通八番町」下車 → 徒歩5分

③ [B1萬代橋ライン(BRT)など] 乗車約10分 → バス停「古町」下車 → 徒歩12分(約860m)

※最も便数が多いです。

※「古町」から[C6八千代橋線]または[C5西堀通線]入船営業所行きに乗り継ぎもできます。

◎ タクシーで

新潟駅万代口から約10分

◎ 自動車で(無料駐車場46台)

① [高速道路] 日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分

② [国道8号線(新潟バイパス)] 紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分

新潟市美術館
Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
Tel.025-223-1622 Fax.025-228-3051
www.ncam.jp
museum@city.niigata.lg.jp

Art Direction & Design :
SHIRAI Takeaki (DESIGN DESIGN)

TeNY

舟越桂展
100円割引券